

「スマートシティ都留」を目指して！

「市民が変えよう！市の仕事」 市民参画による“事業仕分け”開催

「事業仕分け」とは

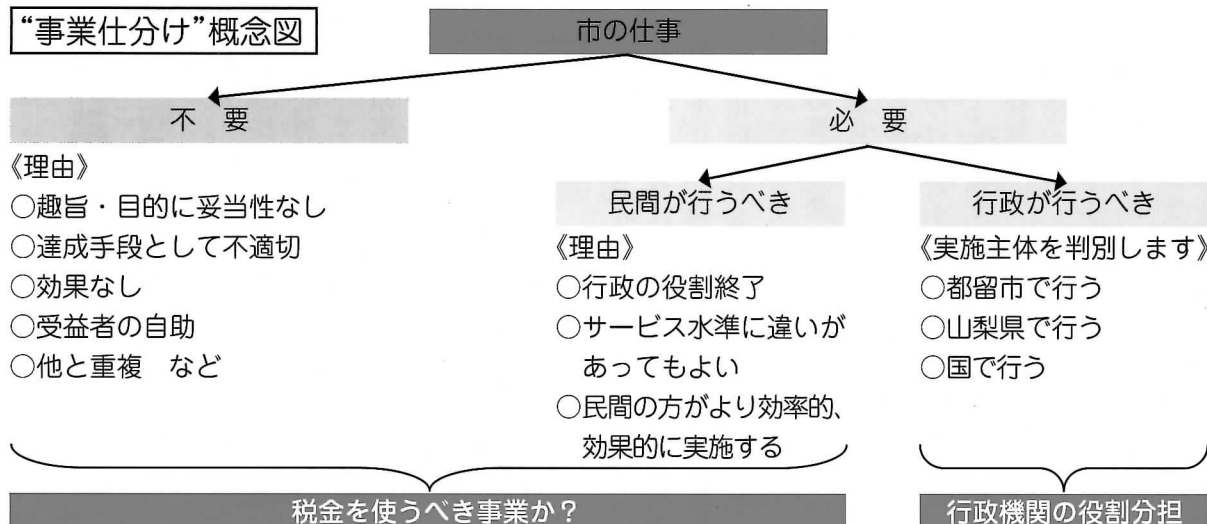
行政サービスの「そもそも」の必要性や実施主体について、市の仕事を、まず「不要」か「必要」かに判別し、「必要」であるならば、「民間」「市町村」「県」「国」に分けていく作業です。地方分権改革、市場化テスト（本市では協働化テスト）などを実効あるものとするための前提作業です。「そもそも必要なサービスか」の議論が不可欠で、「誰が行うべきか」や「国から地方へ、官から民へ」の前に、要否について議論を行い「外部の目」（市民など）により「公開の場」で議論することが特色です（下の概略図を参照してください）。平成19年、20年に引き続き、市民と行政が担う公共サービス「新しい公共空間形成」に向けた「市民参画による事業仕分け」を実施します。

「事業仕分け」は、外部の目（市民など）と公開の場で議論を行うことにより行政の仕事にメリハリをつけるため行います。

これまでの行政は「あれも、これも」
これからの行政は「あれか、これか」



“事業仕分け”概念図



市民がジャッジ！ 市民参画による“事業仕分け”一般市民評価者募集

“事業仕分け”で最も重要なのは、「外部の目」となる仕分け人の人選です。外部仕分け人は、職員の立場に理解を示しつつも、突かれると痛いところがある他の自治体職員（政策シンクタンク「構想日本」所属仕分けチームスタッフ）や、そもそも仕事というものはどのように進めるべきかなどについて、経験や知識を提供してくれる民間企業・市民団体の方などを予定しています。

今回募集する一般市民評価者は、外部仕分け人が出した仕分け結果に対して、市民の目線からみて同感できるかできないかなどの意見をいただく方々です。

対象 18歳以上の市在住、在勤、在学、在活動者の方

申込方法 電話、FAX、Eメールなどで、住所、氏名、年齢、性別、職業（市外在住の方は勤務先または学校名）を明記して申し込みください。

締切 8月21日（金）必着

その他 報酬はありません。

※なお、「市民参画による“事業仕分け”」は、10月3日（土）に開催する予定です。

申込・問合せ先 政策形成課 企画担当

皆さんの意見を“事業仕分け”に反映させるために、ぜひご参加ください。



昨年の「市民参画による“事業仕分け”」の様子

問合せ先 政策形成課 企画担当
FAX (45) 5005
Eメール kikaku2@city.tsuru.lg.jp